

康德二年四月

烏珠穆沁緬羊購買計畫細目案

蒙政部勸業司

1139

鳥取縣沁續羊購買計畫細目案

一、物資購買ニ關スル事項

ノ購買物資調達計畫實施擔任者

綿羊契約購買並ニ自由購買ニ於テ代金ニ充當スヘキ物資ノ調達ハ本部派遣ノ主任者林西縣竹村參事官ノ協力ヲ得テ之カ實施ニ當ルモノトス

2. 物資購買ニ關シ實施スヘキ事項

(A) 林西商務會トノ連絡

物資納入商人ノ選定、物資ノ納入契約締結購買物資代金支拂ニ關スル事項

右ニ關シテハ豫メ竹村參事官ニ依囑シオキタル林西商務會所屬商人ノ資産、信用、取引狀況並ニ取引先トノ連絡狀況等ニ關スル調査ニ基キ竹村參事官ト協議ノ上可及的精密ナル腹案ニ基キ商務會ト連絡スルヲ要ス

商務會トノ交渉ニ當リテハ學國策ニ關スルヲ以テ購入物資ノ
納入、其他ニ就キ慎重周密ナル計慮ヲ以テ之ニ當リ爾後ノ計
畫實施ニ支障ナカラシムル様注意スルヲ要ス、殊ニ物資ノ使
途等ニ就キテハ直接商人ノ利害ニ關係アルヲ以テ努メテ之カ
内容ヲ知ラシメサル如ク處置スルヲ要ス

(B) 物資ノ集積、運搬ニ關スル事項

購入セル物資ハ一部ヲ以テ契約購買ニ依ル緬羊購買代金ニ充
ツル爲東西烏珠穆沁地方及其他錫林郭勒盟所屬地方ニ運搬ス
ル必要アルヲ以テ之カ集積方法並ニ運搬具、運搬者ノ選定等
ニ關シ特ニ慎重ナル考慮ヲ要ス、他ハ本部ニ於テ大板上ニ施
設スル交換所ニ集積スルヲ以テ巴林右旗東代理參事官ト連絡
シ納入期日、輸送方法等ヲ決定スヘシ

3. 物資購入金額

(A) 錫林郭勒ニ對スルモノ

一三〇〇圓

但シ右金銀中ニハ錫林邦勸業所屬各地域迄ノ通常商品輸送ニ
要スル經費ヲ包含スルモノトス

(B) 大板上交換所ニ對スル分 一三〇〇〇圓

一但シ林西大板上間ノ輸送費ヲ含ム

ニ大板上交換所開設ニ關スル事項

ノ目的

察哈爾トノ經濟工作ノ目的ヲ以テ本部ノ行フ緬羊購買ニ關シ自由購買法ニ基ク購買代金支拂ニ充ツル爲右金額ニ該當スル物資引渡ニ關シ物資交換所ヲ大板上ニ設置ス

但シ本交換所ハ近キ將來ニ於テ本部ノ施設スル家畜市場ノ姉妹施設タル恒久的の物資配給所トシテ永續セシメタキ希望ヲ有スルニ就キ右趣旨ニ基キ家畜市場ト同一地區ニ併存シ得ル如ク施設スルヲ要ス

2. 實施計畫擔任者 巴右旗東代理參事官及本部派遣員

3. 交換所ノ設備

(A) 家畜繋留場

家畜繋留場ハ牛、馬、羊合計約一千頭ヲ繋留シ得ル如ク施設スヘシ、牛、馬、羊ニ割當テラルヘキ地積及繋留柱、若クハ

繫留構（土壁ヲ以テ區割スルモ可）ノ工作等ハ現地ノ諸狀況ヲ考慮シ本部ヨリ交付スル金額ノ範圍内ニテ適宜施設セラレタシ、家畜市場設置セラレタル時ハ賣場トシテ利用セラルヘキモノトス

(B) 建築物ニ對スル處置

本交換所ニ於ケル施設ハ將來ノ家畜市場並物資配給所ヲ一團トセル國內國外ノ蒙古人ニ對スル經濟施設タラシムル目的ニ鑑ミ右兩種ノ目的ニ適合シ得ル如ク設計配置スルヲ要ス

(1) 事務所

本事務所ハ配給所ノ店舗並ニ附屬倉庫ト不可分ノ關係ニア
ルヲ以テ本計畫ニ於テハ倉庫及店舗ヲ主眼トシテ建築シ其
ノ一部ヲ事務所トシテ使用スル如ク設計スルヲ要ス

事務所、店舗、倉庫ノ建築ハ別紙配置圖ヲ參照シテ實施セ
ラレタシ

(四) 簡易宿泊所

本交換所ノ附帯施設トシテ簡易宿泊所ヲ設置ス、宿泊所ノ設備ハ蒙古人ノ實生活ニ即セサルカ如キモノハ避クルヲ要スト雖モ本宿泊所ハ其ノ利用如何ニヨリテハ各種ノ機能ヲ營ミ得ルモノナルカ故ニ宿泊ニ必要トスル設備以外ニ平時閑散ナル時期ニ於テハ集會所、訓練所、講習所等トシテ利用シ得ラルル如ク附帶的設備ヲ考慮シオクヲ要ス又本宿泊所ニ簡易診療設備ヲ設置シ宿泊者並ニ一般旗民ニ診療ヲ施シ得ラルル如ク考慮サレタシ右ニ要スル藥品ハ本部ヨリ携行ス尙宿泊者ノ利用ニ供スル爲酒保ヲ設ケ酒類、飲食物、小間物類等適切ナルモノヲ販賣シ得ル如ク施設セラレタシ

(五) 牛馬車置場

宿泊者其ノ他ノ牛馬車置場ヲ適當ニ考慮シ置クヲ要ス

(六) 病畜隔離所

土壁ニテ簡易ナル區劃ヲナシオケハ可ナリ

(A) 病畜診療所ハ當 簡易診療設備ト併用スルモ可ナリ

(C) 物資集積ニ關スル事項

本交換所ニ集積スル物資ニ關シテハ本部派遣員並ニ林西縣竹
村參事官ト連絡シ遺憾ナキ様處置セラレタシ

(D) 廂法會ニ對スル施設計畫

(イ) 廂法會ト交換所ノ事業トノ連絡ニ關スル事項

緬羊購買計畫中自由購買ニ屬スルモノハ緬羊ノ受領、物資
ノ引渡等主トシテ廂法會開催期間ヲ利用シテ實施スル方針
ナルヲ以テ爾後ノ工作ヲ考慮シ廂法會ト交換所トノ連絡ニ
ハ特ニ意ヲ用ヒテ處置セラレタシ

(ロ) 廂法會ニ於ケル特殊催物ニ就テ

右ノ趣旨ニ基キ廂法會ニ對シテハ特殊ノ施設ヲ必要トスヘ
ク例ヘハ競馬會（大同二年五月五日教令第三四號ニヨル賽
馬法及大同二年七月五日軍政部令第一一號ニヨル賽馬法施

行扱則ニ該當セサルモノタルコト)各種競技會(相撲、ソノ
他)映畫會(十六ミリ映寫機、フィルムハ本部ニ於テ準備
ス)

其ノ他適切ナル計畫ヲ樹テ實施セラレタシ

(イ) 廂法會ヲ中心トスル本交映所ノ施設並ニ特殊催物ノ宣傳ニ

ニ關スル事項

本計畫ノ内容ヲ國內、國外ノ蒙古人ニ徹底セシムル爲適當
ナル宣傳用求ス多(繪入彩色ノモノ可ナルヘシ)ヲ頒布
スルヲ要ス

(ニ) 其他本計畫ノ目的達成ニ適切ナル施設

適宜立案計畫セラレタシ

三、貸付綿羊配布計畫ニ關スル事項

1. 實施計畫擔任者

興安西省松岡參與官ハ計畫擔任者トシテ省公署勸業科員及貸付ヲ受クル旗ノ參事官ヲ指揮シ本部ヨリ派遣スル技術官ノ協力ノ下ニ配布計畫ノ立案並ニ實施ニ當ラレタシ

2. 準備調査ニ關スル事項

(イ) 貸付ヲ受クヘキ旗ノ調査選定、可及的旗參事官ノ在任スル旗ヲ選定スル方針ナリ

(ロ) 貸付ヲ受クヘキ部落ノ調査選定

(ハ) 被貸付者ノ決定

資格トシテ窮民タル事、被貸付羊ノ維持増殖ニ適當ナル素質條件ヲ具フルモノタル事

3. 配布計畫及實施ニ關スル事項

察哈爾ヨリノ契約購買ニヨル約一千頭ノ綿羊到着時期ハ六月末

乃至七月トナル豫定ニ付キ大板上ニ於テ引渡ヲ受ケタル後遲滯
ナク配布計畫ヲ實施シ得ル如ク準備セラレタシ

爾余ノ自由購買ニヨル緬羊ハ大板上庙会期間中ニ可及的多數
ノ緬羊ヲ受領シタキ希望ナルモ受領頭數ノ豫定困難ナルニヨリ
到着頭數ニ基キ然ルヘク處置シ得ル様考慮セラレタシ

4. 貸付羊ノ維持、増殖、償還上必要トスル措置ニ關スル事項

現地ノ狀況ニ適合セル方案ヲ立案シ本部ト連絡ノ上被貸付者ノ
指導ニ當ラレタシ

5. 被貸付者ノ團體、償還計畫ニ關スル事項

右事項ニ關シテハ目下本部ニ於テ立案中ニ就キ參考トナルヘキ
現地ノ狀況、意見等具申サレタシ

四、購買官派遣ニ關スル事項

ノ購買官

本部派遣員四名、西省公署官吏一名ヲ以テ購買ニ當ラシム

2. 購買資金及物資ノ携行ニ關スル事項

(1) 購買資金

携行スヘキ資金ハ林西所在滿洲中央銀行支行ニ於テ受領スヘシ

(2) 携行物資

携行スヘキ物資ハ物資購買主任者タル本部員ヨリ之ヲ受領スヘシ

(3) 携行物資ノ輸送ニ關シテハ竹村參事官ノ協力ヲ得テ運搬具輸送者ヲ選定シ之ヲ實施スヘシ

3. 購買羊ノ防疫、管理、輸送ニ關スル事項

現地ニ於テ買付タル緬羊ハ直ニ畜疫豫防ヲ行ヒ一群約二〇〇頭ヲ標準トシテ群構成ヲ行ヒ管理者ヲ附シテ適當ノ時機迄管理セシムルカ又ハ輸送者ヲ附シテ輸送手續ヲ教ルヘシ

4. 輸送中ノ處置ニ關スル事項

購買官ハ豫メ購買羊ノ輸送計畫ヲ樹テ輸送者ニ對シ輸送経路、
輸送中ノ處置ニ附キ指示スルヲ要ス

5. 情況通報ニ關スル事項

購買羊ノ輸送ヲ開始シ若クハ輸送計畫決定セルトキハ輸送頭數
輸送経路、大板上到着豫定日其ノ他之ニ關聯セル事項ヲ大板上
迄通報シ受領上遺憾ナカラシムル様セラレタシ

6. 自由購買、大板上庙会法會ニ關スル宣傳ニ關スル事項

大板上ニ設置スル交換所ニヨル一般旗民ヨリノ自由購買並ニ庙会
法會ノ内容ニ關シ適當ノ方法ヲ以テ宣傳シ可及的多數旗民ヲ大
板上ニ誘致スル様努力セラレタシ

7. 出先特務機關並ニ善隣協會トノ連絡ニ關スル事項

購買官ハ林西出發ニ先タチ林西駐在特務機關ト連絡ヲトリ察哈
爾ニ入りテヨリ以後ノ行動ニ便ナラシムルト共ニ西烏珠穆沁特
務機關其ノ他各地駐在ノ特務機關ト連絡シ行動サレタシ尙善隣

協會ノ協力ノ下ニ購買、輸送等ニ當ルヲ要ス

8. 第六項ト關聯シ宣撫工作施設ニ關スル事項

購買官ニ對シ本部ヨリ活動寫眞映寫機（本部ヨリ携行）及蓄音器（與安西省公署保管）ヲ携行シ宿泊所ニ於テ娛樂場ヲ設定シ實施セラレタシ

緬羊購買費 二八、〇〇〇

科 目	金 額	摘 要
羊代金	一八〇〇〇〇	三、〇〇〇頭分
現大洋並國幣ニヨル支拂	四八〇〇〇〇	◎國幣換算 一頭六圓、八〇〇頭分 國幣一、五圓 對現大洋一元
物資拂ニヨル分	一三、二〇〇〇〇	右ニ同シ 三、二〇〇頭分
旅費	三、一七一五〇	別表 參照
物資購買官旅費	四三八〇〇	日系雇員一名、林西ニ於ケル物資購入並ニ大板上交換所開設事務ニ從事ス、六〇日間
緬羊購買官旅費	一、七七七五〇	屬官一名、雇員二名、西省公舊員一名、蒙古人買付人一名、計五名 五〇日分
緬羊貸付準備員旅費	九五六〇〇	本部日系雇員三名、三〇日分 ◎七〇〇、旗參事官管内出張二名、二〇日分 ◎七〇〇、
車馬賃	一、三一八〇〇	別表 參照
警備費	二八〇〇〇	開魯、林西間往復十日間十名分 二日一名〇、七計七〇圓 西省管内十名廿日間 十名分 " " 計二〇圓

緬羊輸送費	一五〇〇〇	輸送者一名、二十元 五名分
緬羊配布費 及諸雜費	八八〇五〇	緬羊貸付ニ關スル諸雜費 通信費其他諸雜費ヲ含ム
交換所開設費	三〇〇〇〇	
錫林郭勒盟 長、旗長へ 謝禮	五〇〇〇〇	物資ヲ以テ之ニ充ツ
大板上廟法 會施設補助	五〇〇〇〇	競馬、相撲其他特殊催物ニ對スル補助
廟法會宣傳 用紙ス多ク 作成費	二〇〇〇〇	紙ス多ク 一千枚

三 旅 費

本 部 員	緬 羊 配 布	、 、	西 省 公 署 員	本 部 員	本 部 員	本 部 委 任 官	緬 羊 購 買	物 資 購 買 員 一 名	日 當		宿 泊 料		汽 車 賃 バ ス 賃 總 金 額	
									單 價	日 數 金	單 價	泊 數 金		
三〇〇		二五〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	四〇〇		三〇〇	單	六〇	四〇〇	五九	二〇〇	二 二 八 〇 〇
三〇〇		四五	四五	五〇	五〇	五〇		六〇	日	一八	〇〇	三六	〇〇	
九〇〇		一一二	一三五	一五〇	一五〇	二〇〇		一八〇	當	〇〇	額	〇〇	額	一 〇 〇 〇
〇〇		二五〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		〇〇	單	額	額	額	額	
四〇〇		三〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇	六〇〇		四〇〇	宿	額	額	額	額	一 〇 〇 〇
二九		四四	四四	四九	四九	四九		五九	泊	額	額	額	額	
一一六		一三二	一七六	一九六	一九六	二九四		二二	料	額	額	額	額	一 〇 〇 〇
〇〇		〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		〇〇	額	額	額	額	額	
二二				二〇〇	二〇〇	二〇〇		二〇〇	汽	額	額	額	額	一 〇 〇 〇
〇〇				〇〇	〇〇	〇〇		〇〇	車	額	額	額	額	
一〇〇								一〇〇	賃	額	額	額	額	一 〇 〇 〇
〇〇								〇〇	バ	額	額	額	額	
二二八	九五六	二四四五	三一	三五八	三五八	五〇六	一七七五	四三八	總	額	額	額	額	一 〇 〇 〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	金	額	額	額	額	

同	旗公署 参事官	同	本 雇 部 員
三 〇〇 二〇	三 〇〇 二〇	三 〇〇 三〇	三 〇〇 三〇
六 〇〇 〇〇	六 〇〇 〇〇	九 〇〇 〇〇	九 〇〇 〇〇
四 〇〇 一 九	四 〇〇 一 九	四 〇〇 二 九	四 〇〇 二 九
七 六 〇〇	七 六 〇〇	一 一 六 〇〇	一 一 六 〇〇
一	一	一 〇〇 〇〇	一 〇〇 〇〇
一	一	一 〇〇 〇〇	一 〇〇 〇〇
一 三 六 〇〇	一 三 六 〇〇	二 二 八 〇〇	二 二 八 〇〇

八、車馬賃

一、三一八

<p>緬羊配付</p>	<p>緬羊購買</p>	<p>物資購買</p>
<p>三一五圓</p>	<p>七一五圓</p>	<p>二八八圓</p>
<p>馬車使用、配付地開魯間一往復六日間三台 十五日間三台 延六三台⑤五〇〇一―二一五圓</p>	<p>林西開魯間(七二〇里) 一往復 一四四〇里 一〇〇里ニ付キガソリン一罐及ガソリン等若干⑤八〇〇―二五圓 林西―錫林郭勒間及錫林郭勒行動中並ニ歸途開魯迄馬車使用四 〇日間 一日三台延一二〇台 一台⑤五〇〇―一六〇〇圓</p>	<p>林西開魯間(七二〇里)ニ往復二八八〇里 延長三六〇〇里 林西大板上間(二二〇里)ニ往復七二〇里 一〇〇里ニツキガソリン一罐及ガソリン若干⑤八〇〇 但シ自動車ハ公車使用トス</p>

家畜市場開設經費明細

内	譯	金	額	算出		備考
				員數	單價	
建築費		四〇〇四〇〇	圓			
	○事務所	七二〇〇〇		二〇	三六	
	○賣店	二八八〇〇		八	三六	
	○倉庫	一〇八〇〇〇		四〇	二七	
	(蒙古人宿舍)	一、四四〇〇〇		四〇	三六	
	(酒保)	二七八〇〇		七五	三六	
	(炊事場)	一九八〇〇		五五	三六	
	繕工事費	一、八四一〇〇				
	(土塀)	四二〇〇〇		一四〇	三圓	高サ六尺、底部三尺 上部一尺
	(家畜收容所)	二二二〇〇		一一一	二圓	高サ四尺、底部二尺 上部一尺

○水 槽	○牛馬 繁留柵	地均 一切	○井 戸	(便 所)	(正 門)
四 〇〇〇〇	一 〇〇〇〇	三 〇〇〇〇	六 〇〇〇〇	五 九〇〇	一 〇〇〇〇
二	二 〇本		二 眼	二 三	一 丈
二 〇	五	三 〇〇	三 〇〇	二 七	一 〇〇

註○印ハ本年度絶對必要ノモノ
 () 印ハ次年度本豫算ニ計上ス
 計三、〇一七圓
 計二、八二八圓

(末訂正)

蒙政部所管内 窮民救済家畜貸付辦法 案



第一條 本辦法ニ於テ家畜ト稱スルハ牛馬羊ヲ謂フ

第二條 本辦法ニ於テ家畜借受團體ト稱スルハ家畜ノ貸付ヲ受クル爲ニ組
スハキ三戸以上ノ團體ヲ謂フ

第三條 蒙政部長大臣ハ窮民救済及家畜ノ改良増殖ヲ計ル爲 畜産組合ニ對シ
辦法ニ依リ家畜ノ貸付ヲ爲スコトヲ得

畜産組合ハ其借受家畜ヲ家畜借受團體ニ轉貸スヘシ

第四條 畜産組合ニ貸付スハキ家畜ノ種類頭數ハ蒙政部長大臣之ヲ定ム

第五條 畜産組合 家畜ノ貸付ヲ受ケタルトキハ様式第一号ニ依リ借受証ヲ
蒙政部長大臣ニ差出スヘシ

第六條 畜産組合ハ借受團體以外ノモノニ借受家畜ヲ轉貸スルコトヲ得ス

第七條

家畜ノ貸付ヲ受ケムトスル窮民ハ借受団体ヲ組織シ代表者一名ヲ定
様式第二号ニ依ル貸付額ヲ畜産組合長ニ差出スヘシ

第八條

前條ノ出願アリタルトキハ調査ノ上適當ト認ムルモノニ對シテハ
一戸当リ 羊十頭牛三頭又ハ馬一頭ヲ限度トシテ貸付ヲ為スヘシ
組合長ハ貸付ト同時ニ借受団体ニ様式第三号ニ依ル貸付証ヲ附與スヘシ
貸付ヲ受ケタル借受団体ハ様式第四号ニ依ル借受証ヲ畜産組合長
ニ差出スヘシ

第九條

借受団体ハ組合長ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外借受家畜ヲ屠殺又ハ轉借
賣却スルコトヲ得ス 但シ借受家畜ノ果實ニ関シテハ此ノ限リニ非ス

前項ノ果實又ハ果實ヨリノ生産物ノ賣買交換ハ畜産組合ノ手ヲ通
シテ之ヲ為スヘシ

第十條

貸付家畜ニ付キ盜難、失竊、疾病、斃死、其他重大ナル事故アリタルトキ

借受団体ハ選滞ナク其旨ヲ組合長ニ届出ソヘシ

第十一條

借受団体ハ借受家畜ノ前年ニ於ケル成績ヲ様式第五号ニ依リ毎年一月二十日迄ニ組合長ニ報告スヘシ

組合長ハ直ニ前項ノ報告書ヲ取纏メ蒙政部大臣ニ報告スヘシ

第十二條

蒙政部大臣ハ官吏ヲシテ畜産組合若クハ借受団体ニ就キ貸付家畜ノ飼養管理ノ状況其ノ他ヲ調査セシムルコトヲ得

第十三條

蒙政部大臣ハ官吏ヲシテ畜産組合若クハ借受団体ニ對シ貸付家畜及其ノ仔畜ノ飼養管理其ノ他ニ関シ必要ナル命令ヲ為スコトヲ得

第十四條

畜産組合ハ借受団体ニ對シ貸付家畜及其ノ仔畜ノ飼養管理其他ニ関シ必要ト認ムル事項ヲ命ズルコトヲ得

第十五條

借受団体ハ貸付ヲ受ケタルトキヨリ十五年内ニ借受家畜ノ代金ヲ組合ニ分納スヘシ但シ貸付ヲ受ケタルトキヨリ羊ニ於テハ二年、牛ニ

於十八三年 馬ニ於テハ四年ノ猶豫期間ヲ認ム

分納金額ハ毎年最小限 羊十頭ニ付キ 五円十五銭 牛三頭ニ付 九円九
十九銭 馬一頭ニ付キ 四円五十四銭トス

第十六條 償還スヘキ家畜代金ハ 羊一頭ニ付キ 七円、牛一頭ニ付キ 四十円
馬一頭ニ付キ 五十円トス

第十七條 畜産組合ハ第十五條第一項ノ猶豫期間満了後 毎年借受家畜
全体ニ対スル第十五條第二項ノ金額ノ割合ヲ蒙政部大臣ニ償還スヘシ

第十八條 償還ハ現金ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
但シ借受団体ハ現物ヲ以テ爲スコトヲ得

第十九條 借受団体第九條乃至第十一條第一項ノ規定ニ違反シ 若クハ第十三條
命令又ハ第十三條ノ調査ヲ拒ミタルトキハ蒙政部大臣ハ貸付家畜ノ返納ヲ
命スルコトヲ得

様式第一号

家畜借受証

一 羊 何頭

一 牛 何頭

一 馬 何頭

右正ニ借受仕候也

年 月 日

〇〇畜産組合長

何某印

蒙政部大臣

殿

様式第二号

家畜貸付願

一羊 何頭

一牛 何頭

一馬 何頭

右貸付相成度左記事項ヲ具シ此段願上候也

年 月 日

住所

被貸付人 氏名

右代表者

○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○
印 印 印 印

○○畜産組合長

殿

記

一飼養管理ノ場所

二各戸家族数

三其他

様式第三号

家畜貸付書

一 羊 何頭

一 牛 何頭

一 馬 何頭

右貸付ス

附記事項 熟賢上飼養管理スヘシ

年 月 日

〇〇旗

某殿

某殿

某殿

右代表者 何某殿

附記事項

一 辨法

二 其他

〇〇畜産組令長

何某印

様式第四号

家畜借受証

一 羊 何頭

一 牛 何頭

一 馬 何頭

右正借受仕候也
年 月 日

在所

〇〇畜産組合長

殿

右代表者

何 何 何 何
某 某 某 某

印 印 印 印

様式第五号

借受家畜蕃殖成績表

一 借受家畜頭数 羊何頭、牛何頭、馬何頭

二 借受年月日 年 月 日

三 生産頭数 羊何頭、牛何頭、馬何頭 (各々牝牡別)

四 死亡頭数 羊何頭、牛何頭、馬何頭 (各々牝牡別)

五 現在所有頭数 羊何頭、牛何頭、馬何頭 (各々牝牡別)

六 其他

右報告仕候也

年 月 日

〇〇畜産組令長 殿

右代表者

何某某 何某某 何某某 何某某
印 印 印 印

(未訂正)

興安省畜産組合辦法(案)

第一條

蒙政部長大臣ハ家畜貸付辦法ニ依リ家畜ノ貸付ヲ受ケル旗ニ畜産組合ヲ設立セシム

第二條

本辦法ニ於テ家畜ト稱スルハ牛馬羊豚駱駝ヲ謂フ

第三條

蒙政部長大臣ハ組合ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ設立補助金ヲ支附スル事ヲ得

第四條

組合ハ次ノモノヲ以テ組合員トス
一、家畜貸付辦法ニ依リ家畜ノ貸付ヲ受ケタル家畜

借受団体

一 家畜ノ所有スルニシテ組合員トシテ欲スル者

第五條 組合員ノ事業ヲ営ムヲ以テ目的トス

一 家畜ノ改良増殖

二 家畜傳染病豫防

三 家畜ノ貸付及家畜代金ノ取立

四 家畜及畜産物ノ販賣斡旋

五 家畜市場ノ經營

六 其他組合員ノ利益ヲ増進シ組合ノ目的ヲ達スル爲

第六條 要項事項ノ決定

第七條 組合員名稱 畜産組合 文字ニ標記スル

第七條 旗ヲ以テ組合ノ区域トス

第八條 組合事務所ハ当分内之ヲ旗公署内ニ置ク

第九條 組合ニ在リテ役員ヲ置ク

一 組合長 一名

一 副組合長 二名

一 評議員 若干名

役員ハ名譽職トス

第十條 役員ハ当分内之者就任ス

組合長ハ旗長副組合長ハ旗公署日系官吏、評

議員ニハ組合長及副組合長ニ於テ適当ノ認ムル者

第十一條 役員ノ任期ハ滿ニ十年トス但シ再選スルコトヲ得

補欠ニ依リ就任シタル役員ノ任期ハ前任者ノ残任期間

トス

第十二條 組合長ハ組合ヲ代表シ組合ノ事務ヲ總理ス

副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アル時ハ

組合長ニ於テ定メ名順位ニ依リ評議員ノ一ト其

ノ職務ヲ代理ス

評議員ハ評議員会ニシテ組合長ノ諮問ニ応

ジ又ハ事業及財産狀況ヲ監査シ重要ナル事項ヲ

審議ス

第十三條 組合員事務員及技術員ヲ置ク

事務員及技術員會組員會長等ノ職權又前ノ各款

第十四條 事務員及技術員等組合長ノ指揮ニ依リ各庶

務員ニ對シテ各技術員等ノ職務ニ對シテ監督ス

第十五條 組合長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ評議員會

ニ決議シテ必要ノ役員ヲ選出スルヲ得

第十六條 評議員會ノ分限定期及臨時評議員會

第十七條 定期評議員會ハ毎年三月ニ之ヲ開ク臨時評

議員會ハ必要ニ於テ之ヲ開ク

第十八條 評議員會ハ提案ノ事務現存如シテ必要ノ

決議スルニ當リ各評議員ハ其ノ職權ニ依リ

ニ歳入ノ決算報告

第十九條 評議員會ハ事業報告書ヲ提出スル

四翌年度ノ事業計畫ヲ定ムコト
 五事業ノ施行ニ必要ナル諸規定ヲ制定スルコト
 六其他重要ナル事項
 第十九條 會議ハ組合長之ヲ召集ス
 會議ハ召集ハ用會期日五日以前ニ其事項ヲ示シテ之
 ヲ通知スヘシ
 第二十條 組合長ノ評議員ノ議長トス組合長事故アルキ
 ハ評議員互選シテ之ヲ定ム
 第二十一條 會議ハ事業ノ組合長之ヲ提出ス
 第二十二條 會議ハ定数ノ半数以上出席スルニアラサルハ用會
 スルコトヲ得ス但召集再回ニ及ブモ尙果數ニ達セザル
 キハ此ノ限ニ非ス

第二十三條 會議ノ決議ハ出席員數ノ過半数ニ依可否

同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第二十四條 評議員會ニ於テ決議シル事項ハ議事録

ヲ作製シ議長及出席シタル評議員ニ之ヲ署名捺

印スヘシ

第二十五條 評議員會ノ決議ヲ經ヘキ事項ニテ重要事項

ニ非サルモノニ限リ組合長ハ評議員會ノ招集ニ代ハ書

面ヲ以テ各評議員ノ意見ヲ徵スルコトヲ得

評議員會ノ決議ヲ經ヘキ事項ニテ臨時急設ヲ要シ

評議員會ヲ招集スルノ暇ナシト認ム時組合長ニ於テ

專決実行スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テハ次ノ評議員会ニ於テ報告又ハ
承認ヲ取ルベシトス

第二十六條 組合ノ會計年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月

三十一日ニ終ル

第二十七條 組合ノ經費ハ当分ノ内補助金ニ依リ

第二十八條 組合ノ予算ノ規定其他事業ノ施行方法

組合員ニ通報ノ必要アルトキハ其ノ都度組合員

ニ通知ス